

いじめ対策総点検について（報告）

日時：平成30年12月5日（水） 13：30～16：30

来校者：県教育委員会指導主事3名

内容：

（1）いじめチェックシートを基にした書類の点検 → 特に問題なし

（指導主事からのコメント）

- ・いじめが解消していても3ヶ月後に再度確認すること。
- ・いじめ防止対策第1次委員会により、素早く対応できているのは良い。
- ・いじめがあったときは保護者への連絡が重要である。

（2）グループワーク

指導主事の1人が生徒役になり、養護教諭へ相談をするところから、いじめ防止対策委員会を開催するまでのシミュレーションを行った。

（指導主事からのコメント）

- ・普段からきちんと対応しているのだということが確認できた。
- ・相談した生徒の気持ちとしては、同じ事を3回説明しなければならなかったことが辛かった。
- ・最初はメモなしで良いので、目と目を合わせてしっかりと聞いてほしい。
- ・保護者がゲートキーパーなのであれば、いじめの内容を保護者に確認してもらえるか聞いてみる。情報をキャッチしたら聞ける人に聞いてもらう。
- ・表情が暗いなど、普段と様子が違うのであればアプローチしてほしい。
- ・自殺の話をして自殺のリスクが高まるという報告はない。
- ・いじめ防止対策委員会を解散するときに、何をすべきか分かっているかが重要である。